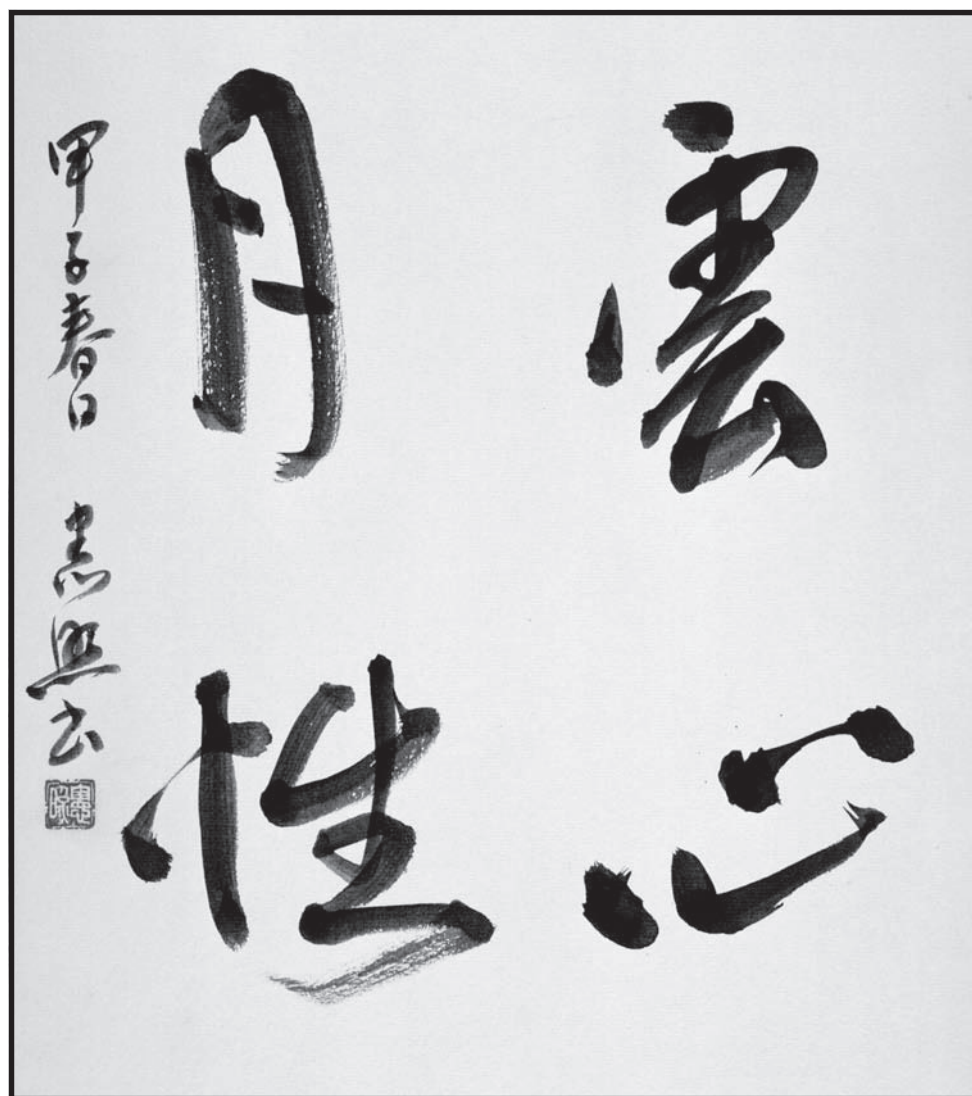


色紙を書く(5)

締切り 五月二十五日(必着)

奥村憲照先生書



〔読み〕 雲心月性

〔大意〕 名声や利益を求めず、雲や月のように清らかな心や性質を持つ人のこと。

※甲子は一九八四年の干支、今年は乙未です。

◎暮らしの中で一番身近で、親しみのある「書」といえば『色紙』ではないでしょうか。

◎家の玄関や応接間、お店や事務所など、至る所で様々な色紙を見かけます。

◎お祝いや記念にプレゼントしたり、揮毫を求められたりする機会も少なくありませんが、いざとなると、中々うまく書けないものです。

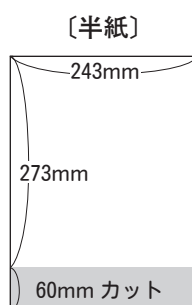
◎創立六十周年の今年は、奥村憲照先生の色紙作品を鑑賞するとともに、色紙の書き方を学びます。

◎色紙は特に、執筆者の個性が重んじられます。あまり手本にこだわらず、自己表現するつもりで自由に楽しんで書きましょう。

□作品の出し方

▼毛筆部Ⅱ左図のように半紙を六〇mmカットして書いて下さい。これが一般的に使用される大色紙のサイズ(二七三mm×二四三mm)になります。

※本物の厚紙の色紙はかさばるため、使用しないで下さい。(色紙練習用の薄手のものは可)



▼硬筆部Ⅱ右の大色紙を四分の一にすると、寸松庵色紙のサイズ(一三六mm×二二一mm)になります。

このサイズの紙を作るか、B5判の用紙に枠を引いてお書き下さい。用具は自由ですが、太目の筆記具(フェルトペン・マッチ棒・割り箸等)がよいと思います。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

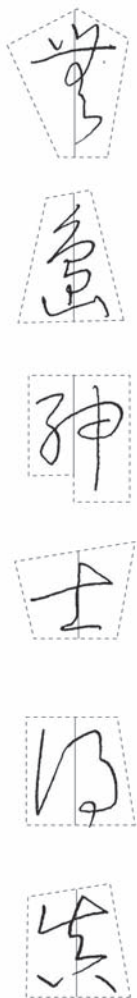
締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

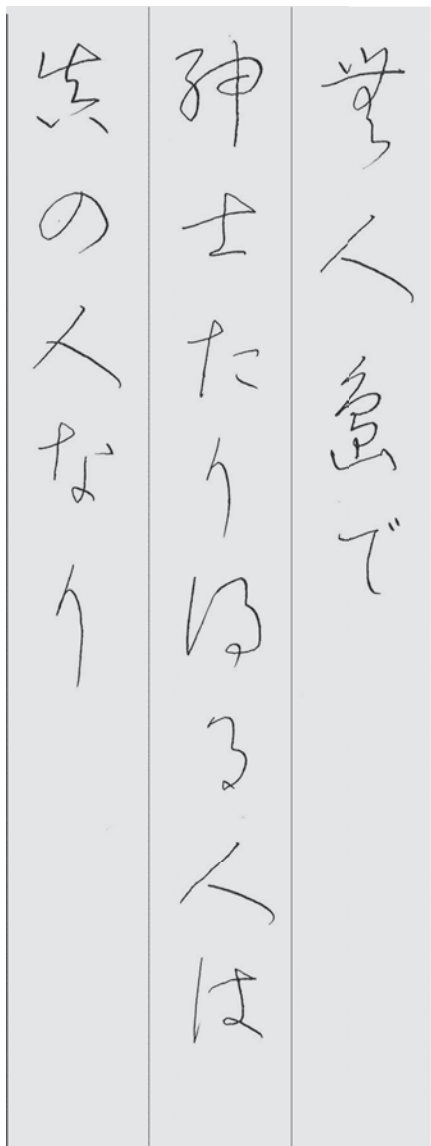
新入から1級まで

〔解説〕

〔読み〕無人島で紳士たり得る人は真の人なり



●教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。
◎今月は草書。草書は一つの形だけでなく書例は何種類かある。どれを手本にするかで印象も変わります。字典で調べ、変換して書くのも勉強の一方法です。



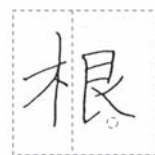
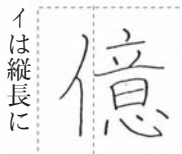
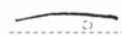
おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

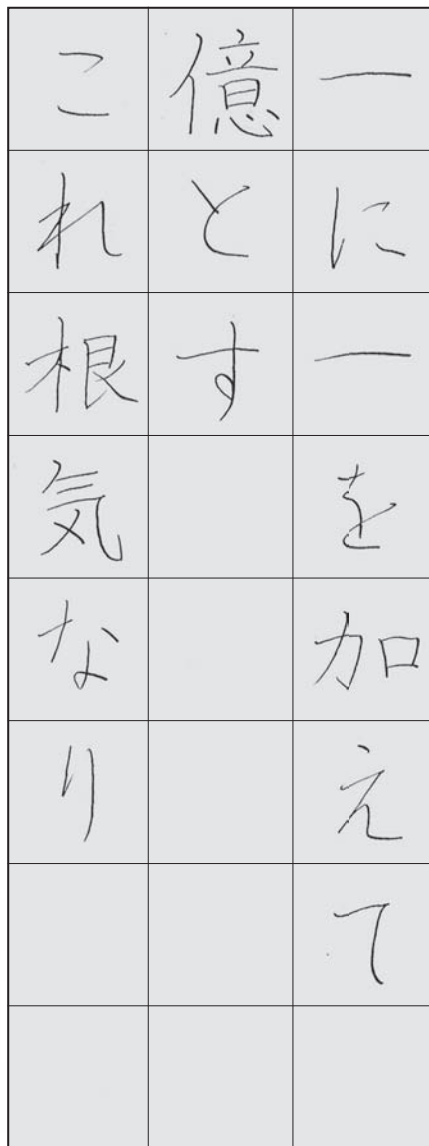
▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕

右上がり気味に



イは縦長に



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★一に…（書体＝楷書）

後藤新平（一八五七～一九二五）

明治・大正の政治家

目標に向かって一歩一歩前進する。

たとえそのスピードが遅くても、いつかその積み重ねが、夢の実現へとつながっていくのです。一念を貫きとおす強い精神力を持って事に当たりたいものです。まさに「継続は力なり」です。

◆6月課題予告（行書）

賢者は

己の敵から

多くのことを学ぶ

★無人…（書体＝行草または草書）

エマソン（一八〇三～一八八二）

アメリカの思想家・詩人

知り合いや人がいるところで立派な振る舞いができたとしても、人の目がない時はどうでしょう。「旅の恥はかき捨て」ということわざのように、いい気が緩んでしまうことがないでしょう。うか。どんな時も良心に恥じない行動がとれるよう身を律したいものです。

◆6月課題予告（楷書）

人間の欲望や性分は
いつの時代でも

同じものである

▼教範・書範＝行草または草書

▼師範＝行書

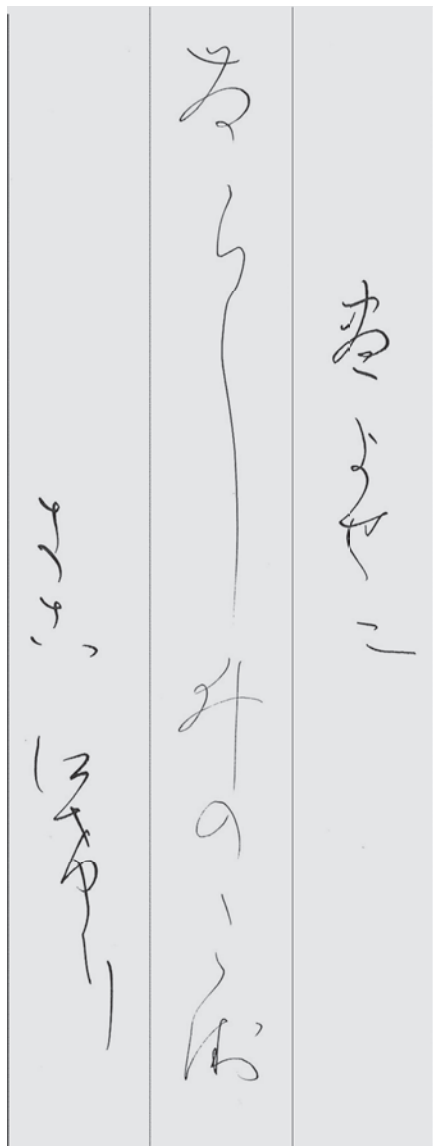
一般部かな課題

締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

昼寄席に晒井の声きこえけり



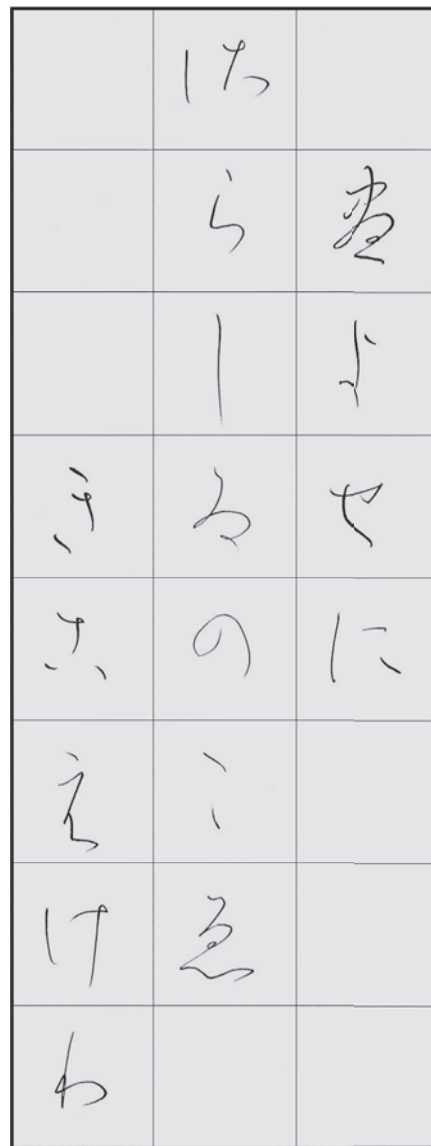
昼寄席に晒井の声きこえけり

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



おお みや しゅん ちょう 書
大 宮 春 兆 書

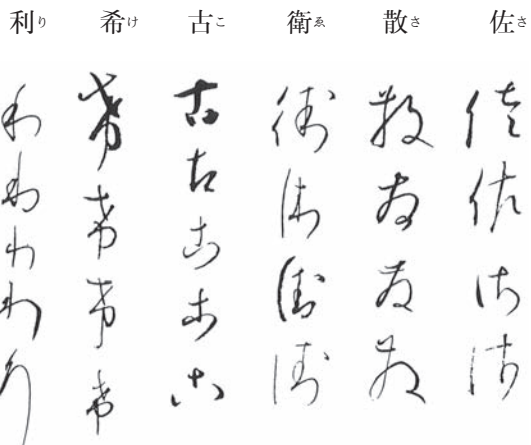
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆6月課題予告

万緑の中や吾子の歯生え初むる

(中村草田男)



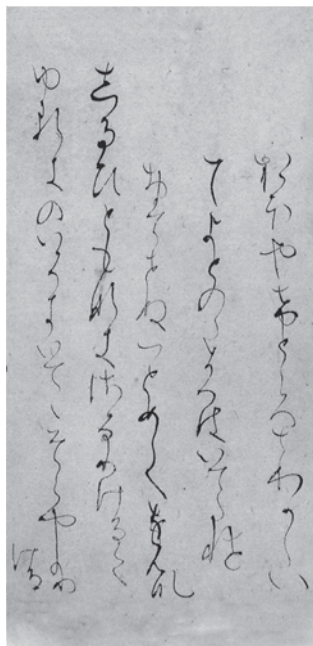
〔古筆参考〕

昼寄席に晒井の声きこえけり
(渡辺水巴)

〔句意〕客も少なく、のんびりとしていて、ものうい気分が漂う昼寄席に、どこか街の遠くの方から、井戸さらいの声がざわざわと聞こえてくることである。

〔古筆参考〕

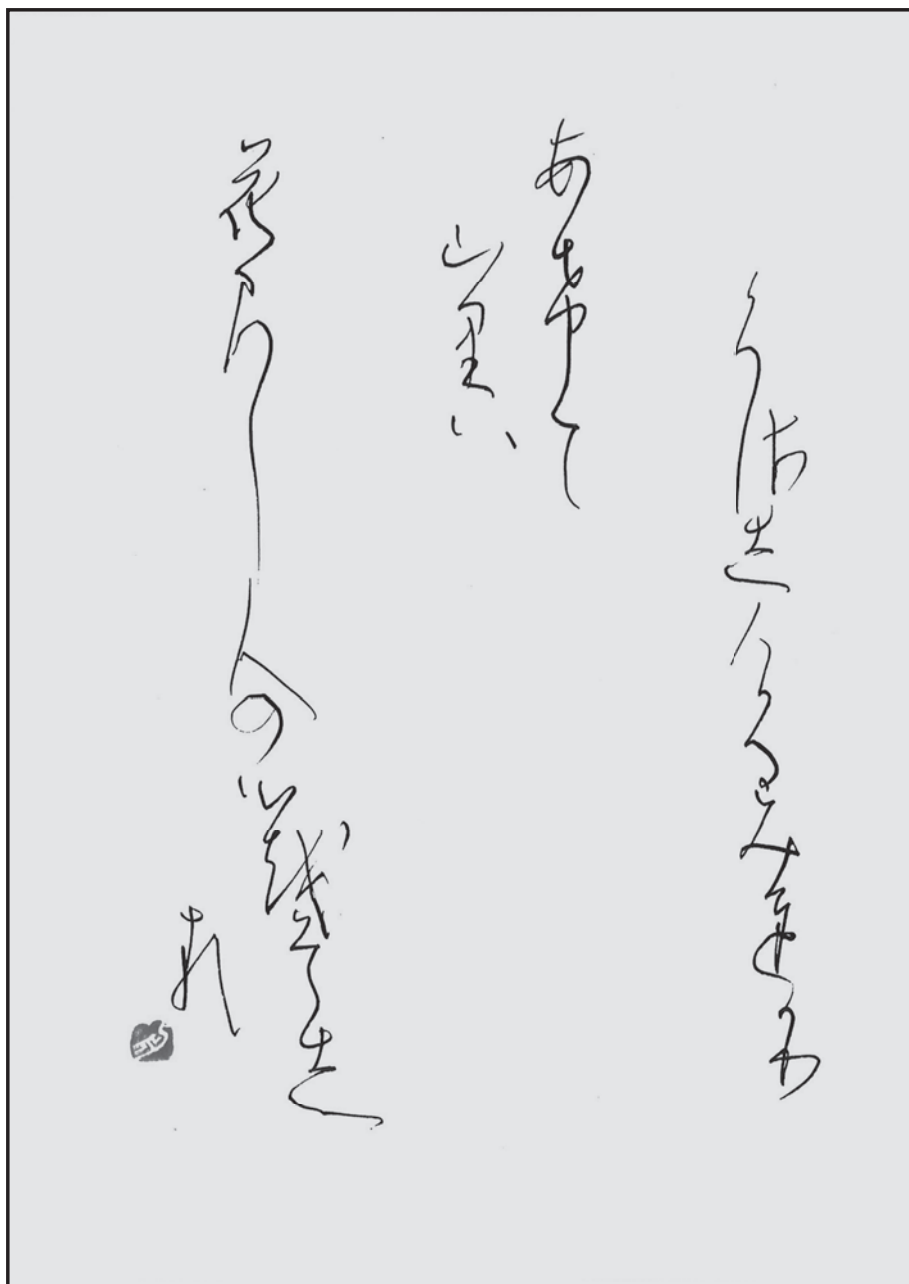
いちじょうせっしょうしゅう
一条摂政集



おほやけどころさわかし、い
でよとのたまへば、いでたれど、
おはせぬつとめて、をむな
しるひともなきさなりけるこ
ゆるぎのいそぎいでくぞくやしかり
ける

締切り 五月二十五日（必着）

築瀬舟香書

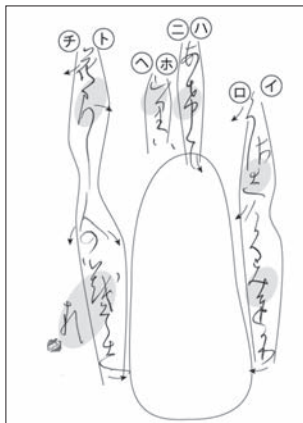


久志介 草しげる道刈りあけて山里は
花見し人の心をぞ知る

〔歌意〕山里では、夏草の繁茂した道を刈り開いて、これが春に桜狩りに来た人の通った道なのだと、今は人の訪れも稀な道に人の心を知ることである。

〔出典〕山家集（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- ①と②、①と④、①と⑤、呼応。
- ①と⑥、①と⑦、⑥と⑧、①と⑨の
行のふくらみ。
- 行の中の密の部分大切。
- 線の志向性に注意。
- 余白（間）の美大切。

◆6月課題予告

ほととぎすしのふ卯月も過ぎにしを
なほ声惜しむ五月雨の空

締切り 5月25日(必着)

山野草の「花筏」^{はないかだ}をご存知ですか。
別名「ヨメノナミダ」とも呼ばれる
この花を、最近初めて見る機会を
得て、一瞬で心を奪われました。
まさにその名どおりの可憐な姿に
自然の神秘に触れた思いです。

山野草の「花筏」をご存知ですか。
別名「ヨメノナミダ」とも呼ばれる
この花を、最近初めて見る機会を
得て、一瞬で心を奪われました。
まさにその名どおりの可憐な姿に
自然の神秘に触れた思いです。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お ぐ 郷 すい こう
尾 郷 翠 光 書

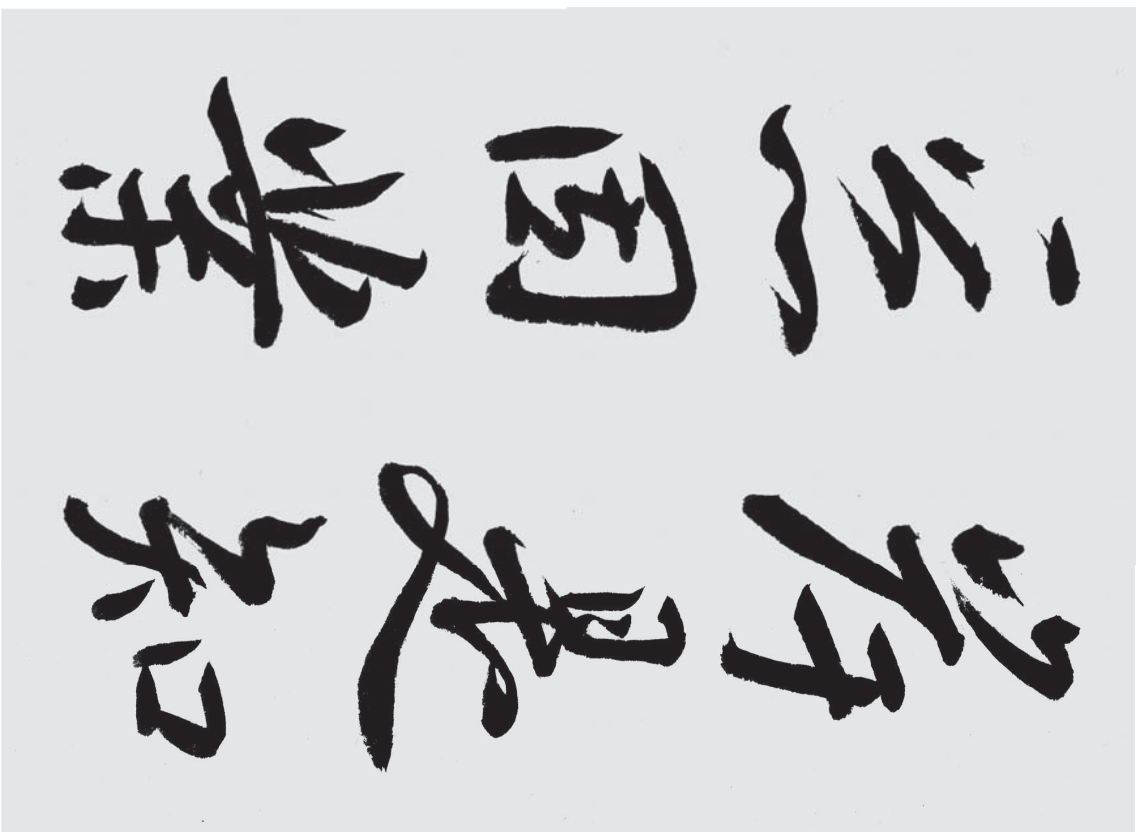
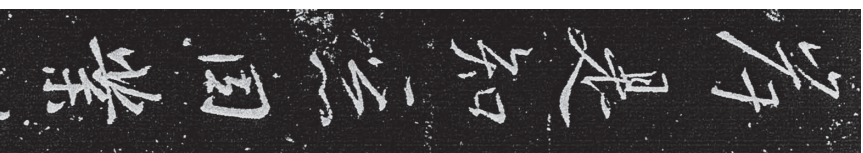
八十八夜の頃、お茶の新芽が出て
一番茶の摘みとりの時期となる。

鹿児島県奄美市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

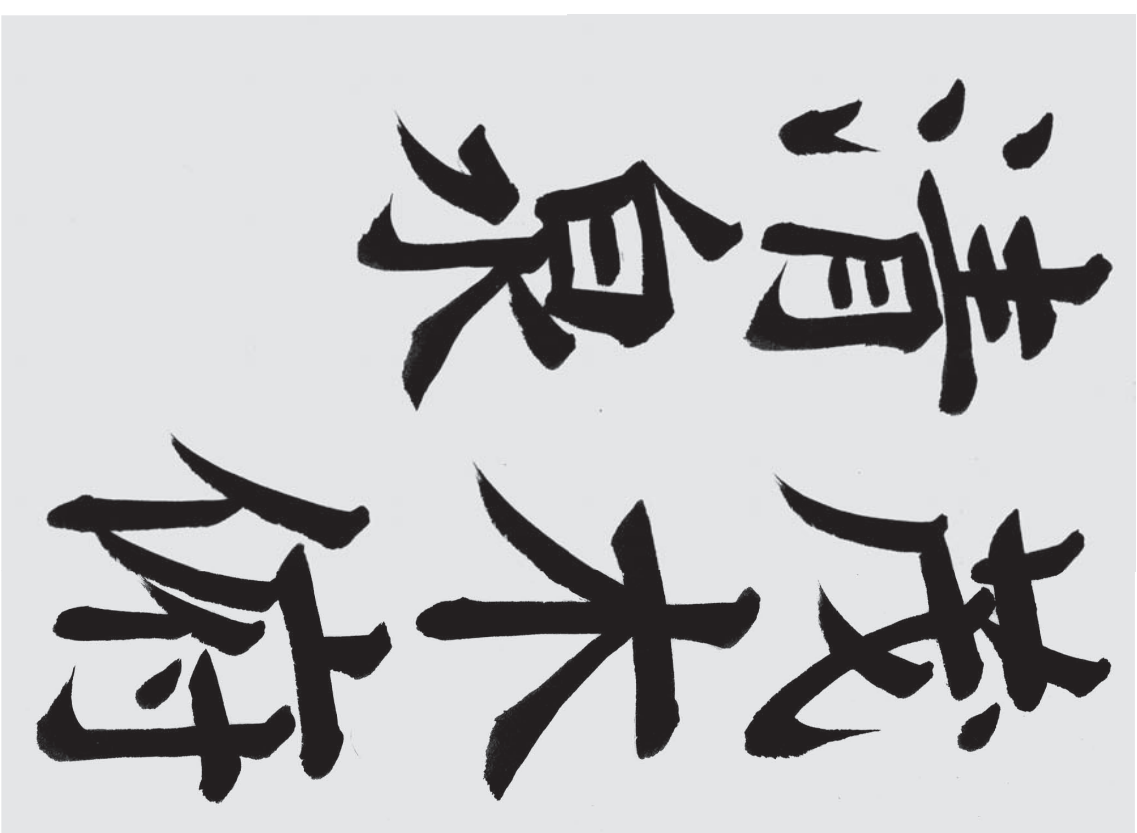
締切り 5月25日(必着)



〔出典〕 集字聖教序（672） 〔筆者〕 王羲之法書より集字
 〔読み〕 (彼) 岸に (籜らしむ。) 是に知る悪は業に因りて

準初段から師範まで

奥村暢之 臨
 おくむら のぶゆき



新入から1級まで（楷書）

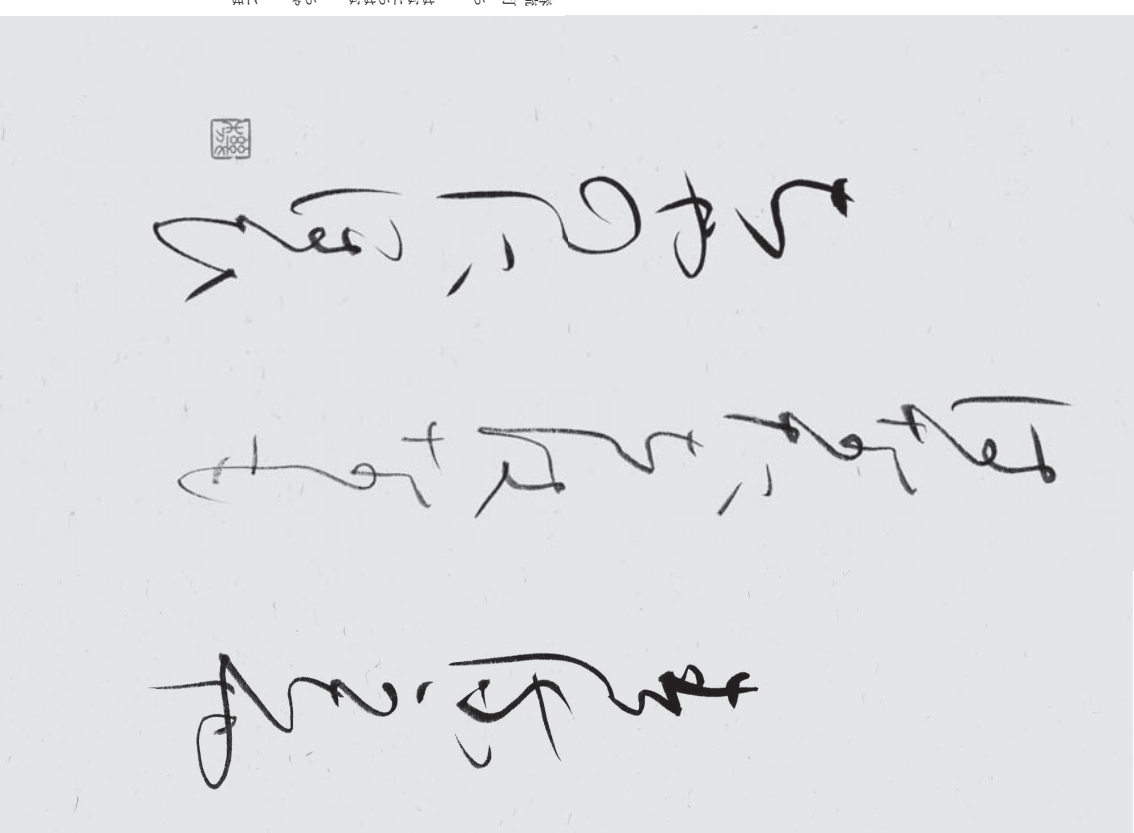
須田一葉 書
 すだ いちよう

〔読み〕 茂木清泉に俯す
 〔大意〕 茂った緑の木々が清らかな泉の上に垂れている。

一般部毛筆かな課題

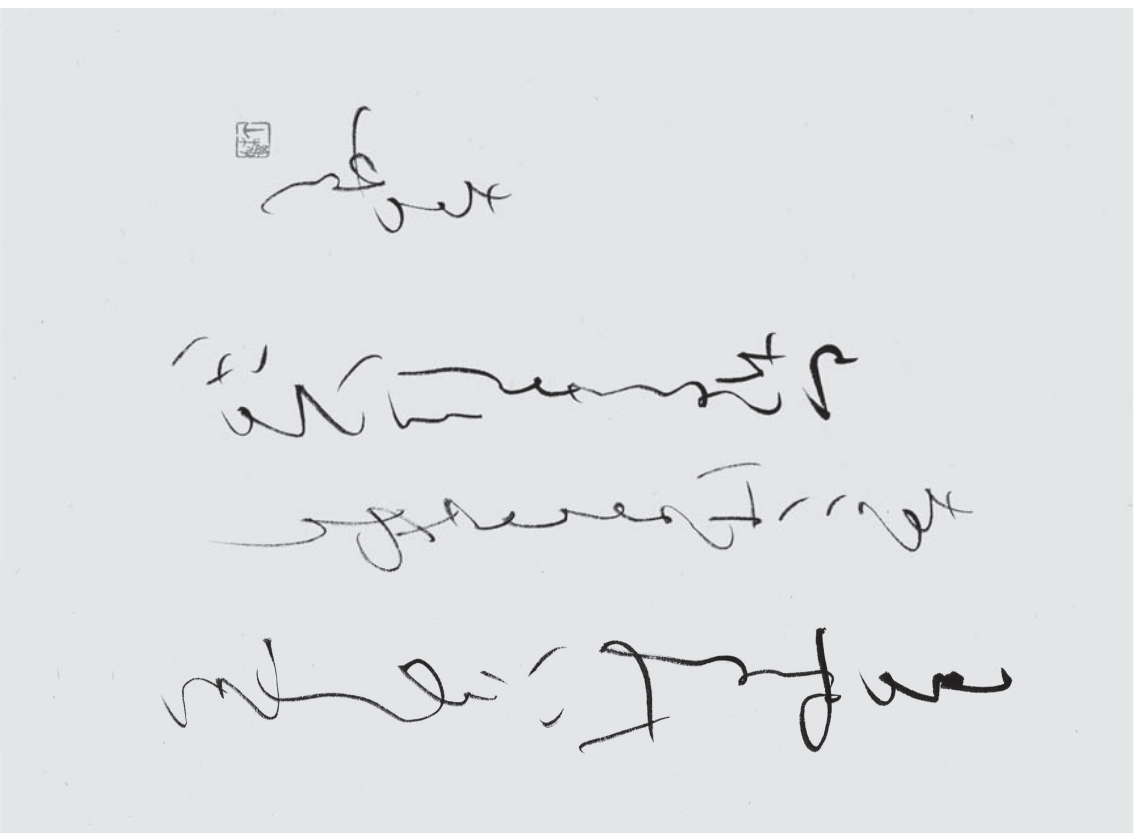
締切り 5月25日(必着)

新入から1級まで



浅井 機山 先生 書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

駿河路や花橘も茶の匂ひ

【出典】 松尾芭蕉

【句意】 駿河路は、いま茶を製する時節である。さすが茶所とあってあ
の花橘も茶の香りがする。

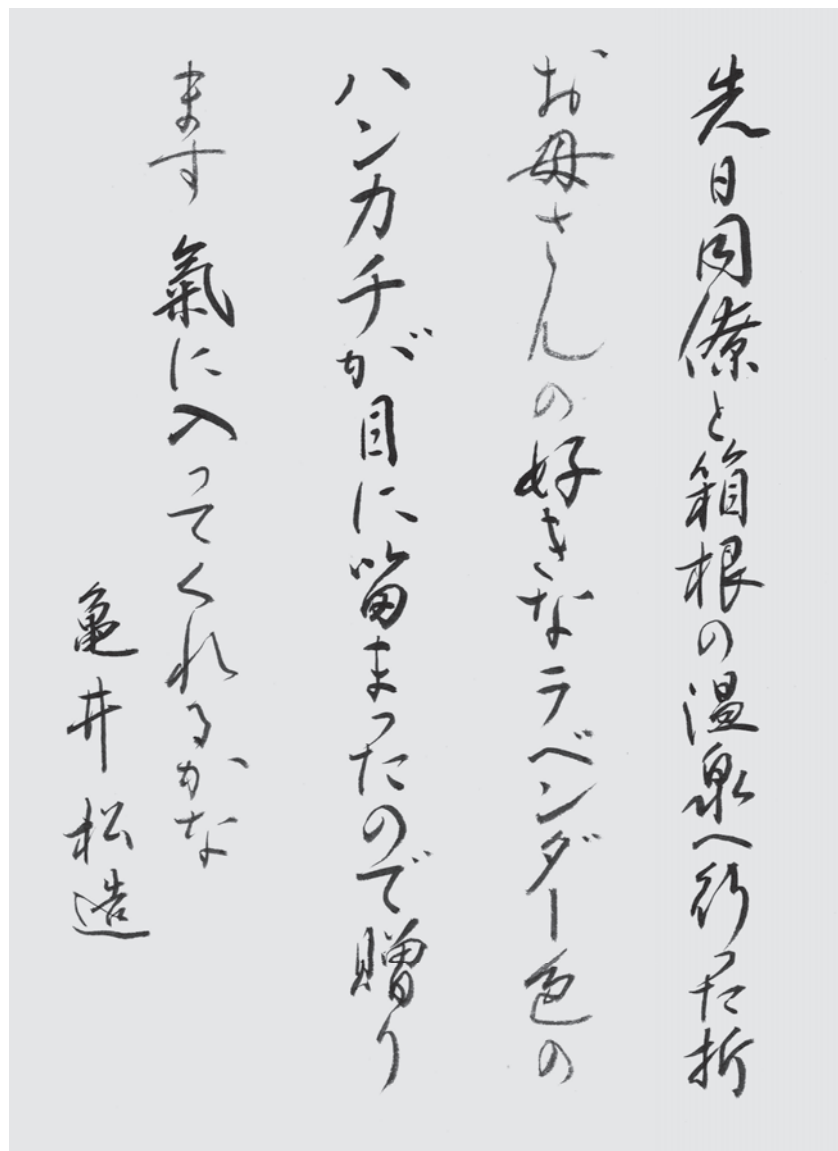
【出典】 読み人しらず

【歌意】 わが庭の池のほとりの藤の花が咲いたことだ。山ホトギスは、
いつになったらここへ来て鳴くのだろうか。待ち遠しい。

わがやどの池の藤なみ咲きにけり
山郭公いつかきなかむ

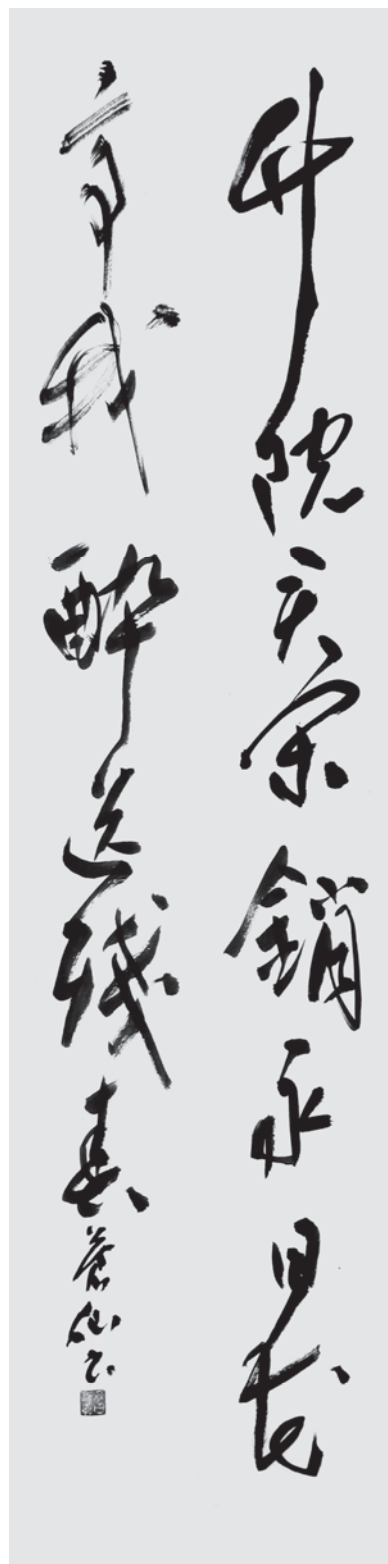
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 五月二十五日 (必着) 半切 (126cm × 35cm)

荻 田 蒼 仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位・5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

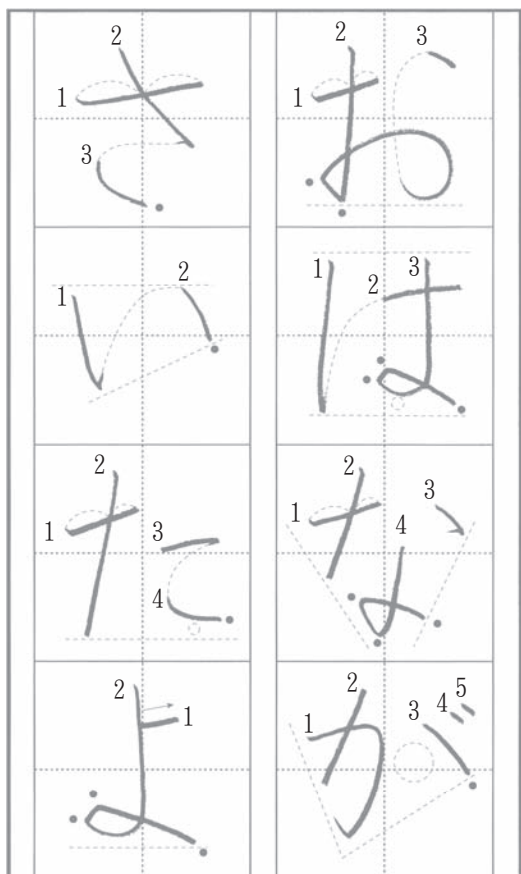
(ご自分の氏名)

先日同僚と箱根の温泉へ行った折
お母さんの好きなラベンダー色の
ハンカチが目に残ったので贈り
ます。気に入ってくれるかな

〔条幅解説〕 静と動の調和、そして線の強さを願
い打楽的用筆で書きました。起筆もボンと突い
て入りました。作例の上に何かプラスするよう
に意識を高めて下さい。

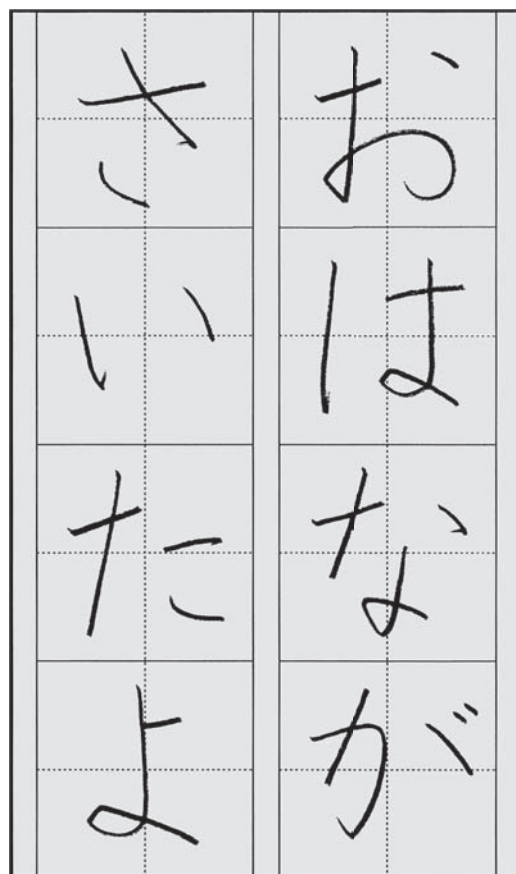
ちくいにきみかんにしてえいじつにとかし
竹院君閑銷永日
かていにわれよひてさんしゅんをおくる
花亭我醉送残春
〔大意〕 竹に囲まれ
た庭にあなたはのんび
りと永日を過ごし、花
のあるあずま屋に私は
酔って残春を送る。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



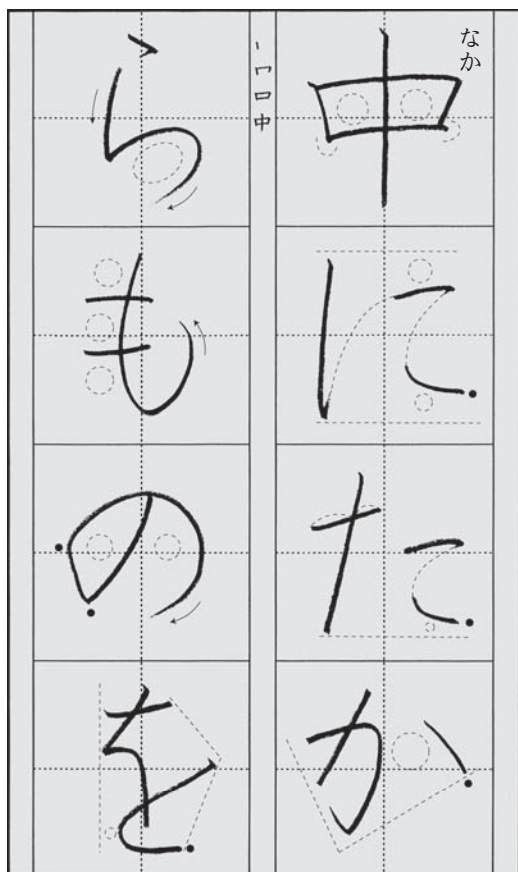
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



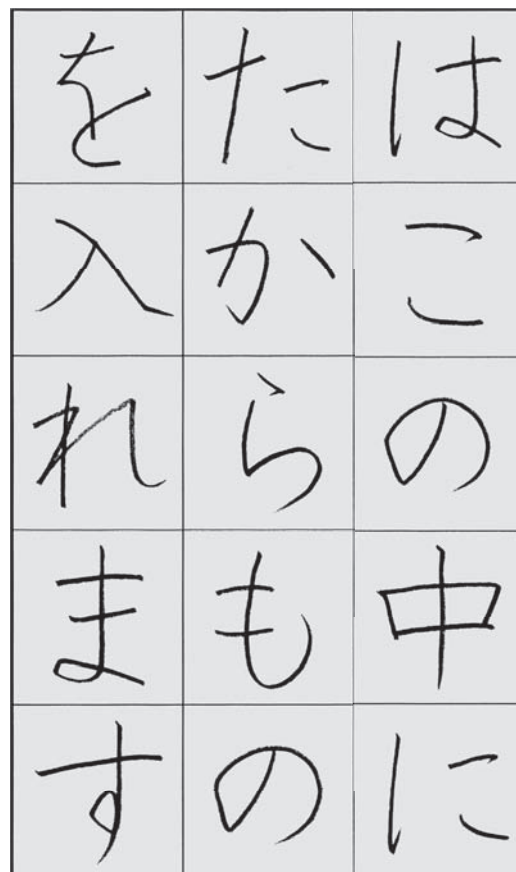
よ
う
年

幼年～小三年まで 三宅容玉書



新入～1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

ひ ノ	ひ 人
ひ 引	ひ の
あ フカ	ちから 力
あ 上	ちから で
あ げ	あ で

新入1級

げ	み	人
魚	を	の
を	引	力
と	き	で
る	上	あ

準初段以上

小二年

ネン カガサツ旅	たび 旅
ネン 年	たび す
もの 物	もの る
がたり ヨロコビ少	シヨウ 少
がたり 語	シヨウ 語

新入1級

を	少	海
読	年	を
ん	の	旅
だ	物	す
よ	語	る

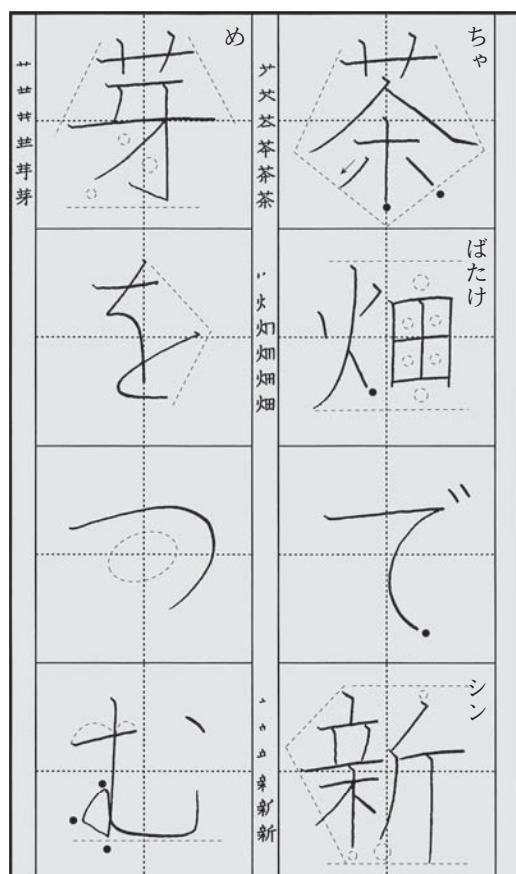
準初段以上

小三年

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

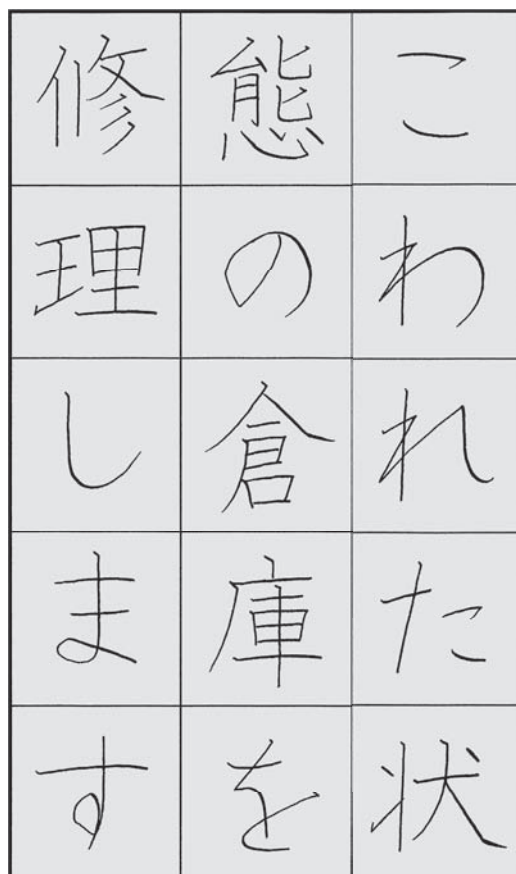
記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬^{かた}くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

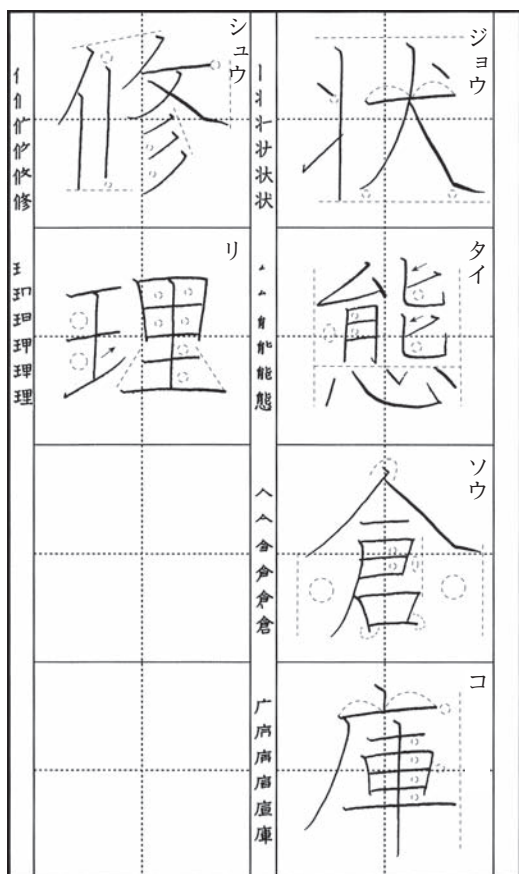
小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上
岡嶋桂川書

小六年

優	人	姉
に	の	さ
夢	若	ん
中	手	は
だ	俳	新

(全員)

※姉さん＝単語としてこのように読みます。

解説(よく見て習いましょう)

て 手	姉(さん) ネエ
ハイ 俳	シン 新
ユウ 優	ジン 人
ゆめ 夢	わか 若

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

書	友	旅
を	達	行
送	に	先
つ	絵	か
た	葉	ら

(楷書)

中二・三年

(楷書)

型	あ	精
ジ	る	巧
才	鉄	で
ラ	道	迫
マ	模	力

◎お手本はつけペン使用

▼小三年以下の課題 いけ がみ こう えん 池 上 紅 苑 書

頭 ^{あたま}	ち	竹 ^{たけ}	地 ^じ	春 ^{はる}
を	よ	の	面 ^{めん}	に
出 ^だ	っ	子 ^こ	か	な
し	ぴ	が	ら	り
た	り			



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 5月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 さ とう ほう らん 佐 藤 芳 蘭 書

駆 ^か	新 ^{しん}	サ	快 ^{かい}	木 ^こ
け	品 ^{びん}	イ	適 ^{てき}	陰 ^{かげ}
ぬ	の	ク	な	が
け	自 ^じ	リ	道 ^{みち}	涼 ^{すず}
て	転 ^{てん}	ン	を	し
行 ^い	車 ^{しゃ}	グ		い
く	で			



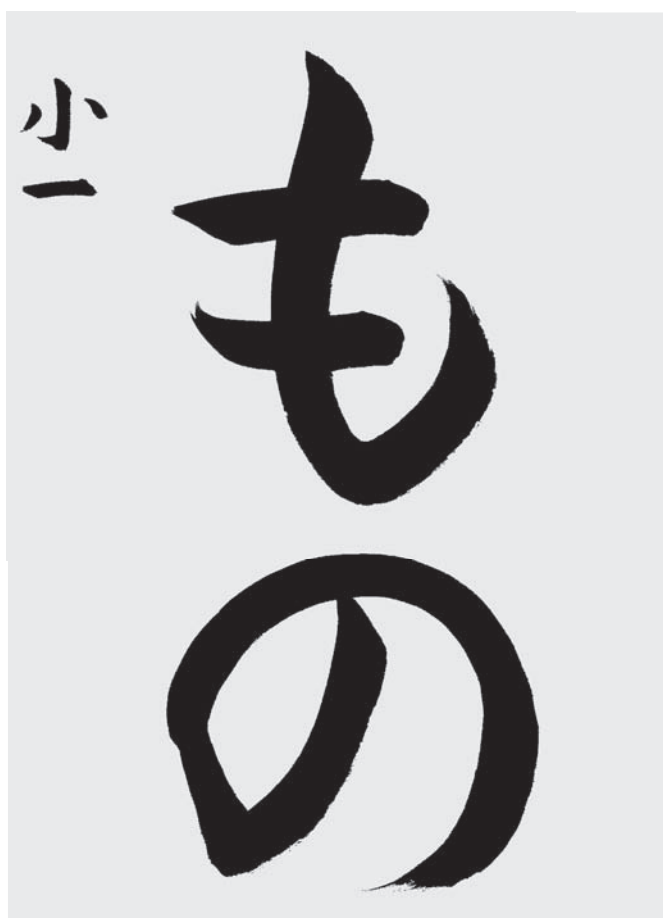
◎お手本はつけペン使用

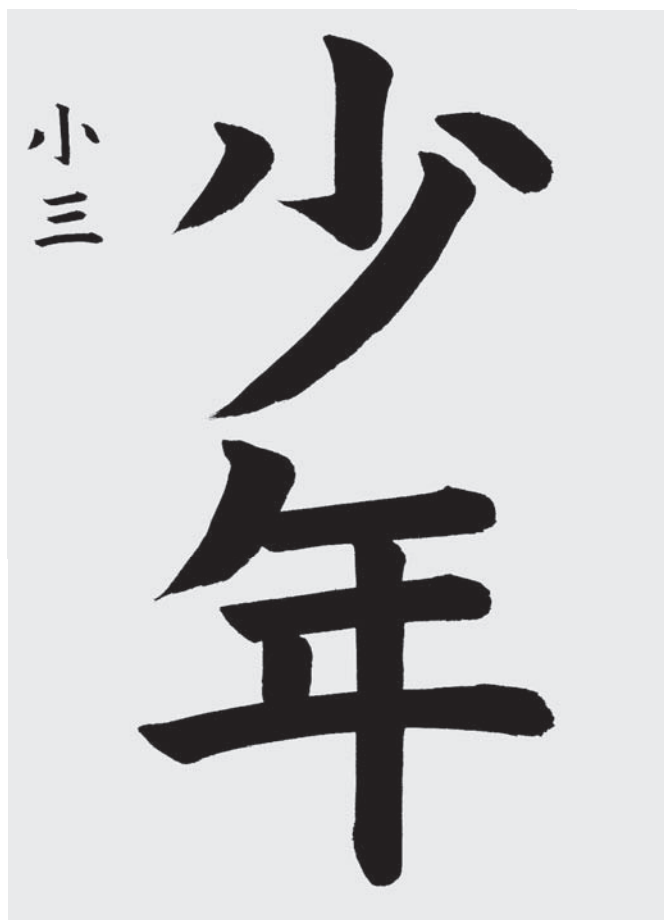
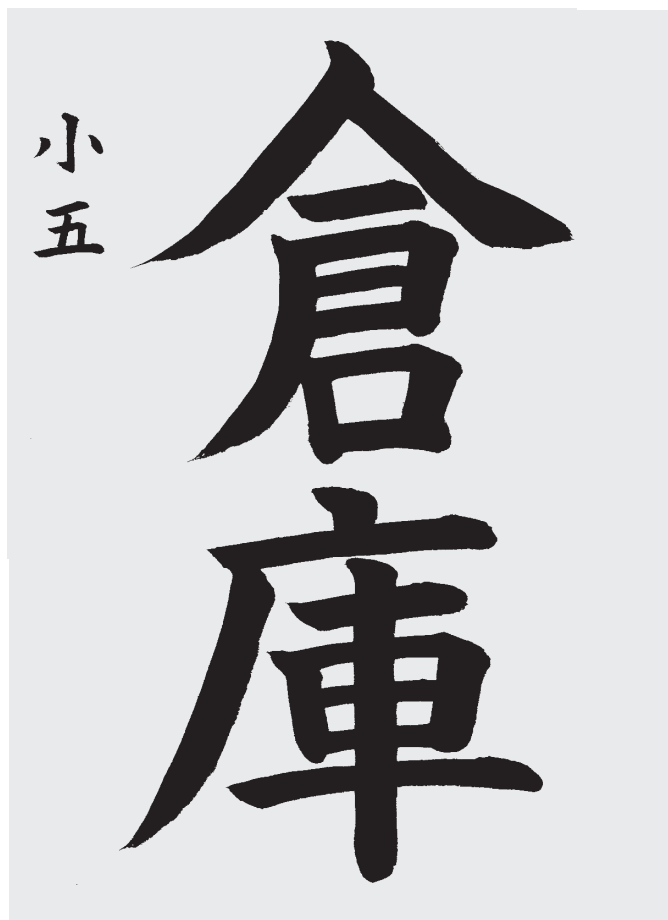
◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
玉樹小
華書





小三・小五年

水野香竹書

中二・三
模型土

小六
夢中

書
模型土
夢中葉

中一
葉書